

# 自己評価結果報告書

令和 8年 2月27日

大分県障害福祉課長 様

所在地 大分県大分市大津町2丁目1番41号  
法人名 大分県社会福祉事業団  
代表者 職氏名 理事長 銅城 義則

## 1. 事業所の状況

事業所の名称	こどもデイサービスダンボ	
事業の種別	<input type="checkbox"/> 児童発達支援 <input checked="" type="checkbox"/> 放課後等デイサービス	
事業所番号	4450500147	
連絡先	TEL	0972-28-7333
	E-mail	naomi-55@ray.ocn.ne.jp

## 2. 取組時期

①保護者による評価	令和 8年 1月16日 ~ 令和 8年 1月26日
②職員による評価	令和 8年 1月16日 ~ 令和 8年 1月26日
③事業所全体による評価	令和 8年 2月18日 ~ 令和 6年 2月18日

## 3. 公表結果

公表日	令和 8年 2月27日
公表の方法	<input checked="" type="checkbox"/> ホームページ
	URL :
	<input checked="" type="checkbox"/> 紙媒体を掲示の上、保護者へ配布

担当者	高羽 光
連絡先 (TEL)	0972-28-7333

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもデイサービス ダンボ (放課後等デイサービス)		
○保護者評価実施期間	R 8年 1月16日		～ R 8年 1月26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12名	(回答者数)
○従業者評価実施期間	R 8年 1月16日		～ R 8年 1月26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12名	(回答者数) 9名
○事業者向け自己評価表作成日	R 8年 2月10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	緊急時の対応について	安全計画等保護者説明会にて緊急時の対応等、周知している。また、各種訓練(避難誘導、防犯、風水害、保護者引き渡し)を定期的実施することで、非常災害時の発生に備えている。送迎中の地震発生時は、南海トラフ地震臨時情報をもとに送迎を一時中断して帰園、保護者に連絡、南海トラフ地震との関連性を考慮した上で当日及び後日の送迎見合わせ等、職員間で対応が共有できている(なお、関連性の調査終了とともに送迎を再開する)。	災害時保護者引き渡し訓練でのシミュレーションから抽出された課題の整理及び改善に努める。
2	行事や活動概要等、情報の公開	法人ホームページに行事や活動の様子を適宜アップする等、積極的な広報活動に努めている。	携帯電話での予約システムのお知らせで新着記事がアップされたことを発信し、法人ホームページ閲覧件数増につなげ、放課後等デイサービスやその他事業への興味関心につなげる。
3	活動プログラムの立案・作成	活動予定表の立案に際し、職員間で様々なアイデアを出し合って検討しており、集団や個別での活動、静と動の活動、季節を感じられる活動等、全体のバランスを考えながら作成している。	5領域を踏まえた活動内容が把握できるよう、活動プログラム欄に領域を記載し、どの活動が何の領域に沿って支援しているのか、児童や保護者にも分かりやすいよう工夫している(例:制作/認知/行動、整理整頓/健康・生活)。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流、地域の他の子どもと活動する機会がない。	放課後児童クラブを併用利用している児童が2名であり、横のつながりが不十分のため交流につなげることが難しい。また、平日や長期期間の活動内容として、限られた時間の中で児童クラブとのインクルーシブな動きを想定しにくいことも挙げられる。自立支援協議会こども支援部会のアンケートでも併用利用について意見が挙がったが、実際に児童クラブ側の障がい児の対応におけるスキル不足や人員不足等により、対応できないとの意見もあった。	放課後児童クラブや児童館との交流は特に設けていないが、改善に向けた取り組みとして、その他の場所で子ども達のインクルージョンが図れるよう工夫している(園外活動での買物支援、長期休暇での公共施設利用)。また、可能な限り地域社会への参加を促せるよう園祭や地域交流事業等の情報提供を行っている。
2	職員の配置数について	定員に対する配置数は適当ではあるが、ご利用児が重心や強度行動障がいのお子様であるため、介助率が高く、日によっては活動時間が短くなったり、職員の健康不安(腰痛等)も考えられる。	腰痛予防対策や始業前のストレッチ等取り入れ、職員の健康管理を行っていく。また、研修などで正しい介助の方法を学び、支援の統一を行い、属人化しないチームを作っていく。活動については、引き続きお子様の楽しめる内容をチームで考えていく。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもデイサービス ダンポ (放課後等デイサービス)

公表日 年月日 令和 8年 2月 27日

利用児童数 12名

回収数 9名

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない			
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	6	3	0	0	・事業所内にあまり入る機会がなく、細かいことがよくわかりません。 ・活動にもリラックスにも過ごしやすい空間だと思います。	広さについては、厚生労働省による全国的な基準は決められていませんが、放課後等デイサービスガイドラインでは、子ども一人当たり2、47㎡を確保することが望ましいとされており、ダンポもクリアしています。室内もスヌーズレン室、カムダウン室の個室もあり、ゆったり過ごせるようになっています。また、目の前に大きなグラウンドもあるため、室内外で様々な活動ができます。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	5	4	0	0	・事業所内にあまり入る機会がなく、細かいことがよくわかりません。 ・目の行き届いた支援をして下さっていることについても感じています。ありがとうございます。	配置数については、基準以上の配置をしています。また、支援に携わる職員は保育士や児童指導員の他、社会福祉士や介護福祉士、知的障上コーチ資格、障がい者スポーツ指導員を有する職員もいます。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8	1	0	0	・事業所内にあまり入る機会がなく、細かいことがよくわかりません。 ・体が不自由な人でも利用しやすく助かってます。	活動の場所はワンフロアになっており、視覚的に一日の流れがわかるように工夫しています。また、入口はスロープと手すりを設置しています。玄関の段差については、十分に気をつけています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	7	2	0	0	・事業所内にあまり入る機会がなく、細かいことがよくわかりません。 ・きれいに過ごしやすい環境です。	・活動前と活動後には清掃と消毒を行っています。それぞれのお子様の特性に応じて、安心して活動できるように環境設定を行っています。	
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9	0	0	0		5領域やインクルージョンを踏まえた個別支援計画を作成し、一人ひとりに沿った支援を提供させていただいています。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	8	1	0	0		県に公表している支援プログラムに沿った支援を提供させていただいています。	
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	9	0	0	0	いろいろな活動を取り入れてくださりありがたいです。	6ヶ月毎のモニタリング会議にて保護者と情報共有を回り、ニーズを汲み取りながら、5領域やインクルージョンを踏まえた個別支援計画を作成しています。	
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9	0	0	0		5領域やインクルージョンを踏まえ、一人ひとりに沿った個別支援計画を作成しています。	
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	8	1	0	0		5領域やインクルージョンを踏まえた個別支援計画を作成し、一人ひとりに沿った支援を提供させていただいています。	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	7	1	0	1	・季節を感じる机上作業や身体活動など活動のバリエーションをの多さを感じます。 ・毎日いろいろな活動があり、楽しそうです。	活動予定表を立てる際は、職員間で様々なアイデアを出し合っており、季節や天候などに応じて、集団や個別の活動、季節を感じる活動、静と動の活動など、全体のバランスを考えながら作成しています。	
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2	2	1	4		放課後児童クラブや児童館との交流の機会は今のところありませんが、総合型地域スポーツクラブの催しに参加し、他事業所との交流を行っています。また、インクルージョンの機会を待てるように活動に取り入れています。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	8	1	0	0		契約する際に丁寧に説明させていただいています。	
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	8	0	0	1		個別支援計画の交付の際に説明させていただいています。	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4	1	1	3		ペアレントトレーニングは実施していませんが、電話や連絡簿、送迎等で保護者からの相談や悩み等の対応を行っています。	
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	9	0	0	0	・送迎や連絡簿で丁寧に活動内容や様子伝えてくれて分かりやすいです。 ・子供のことをよく理解してくれていていつもありがとうございます。 ・毎日、ていねいに報告してくれます。	送迎の際には活動の様子をお伝えしています。また、連絡簿ではご家族からの家での様子や相談事項が書かれているため、送迎と職員間での周知を行っています。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	5	2	1	1		モニタリング会議で、子供の様子などを定期的に知らせてもらっています。	個別での相談や悩み等については、電話や連絡簿を通じて対応させて頂くとともに、必要に応じてモニタリング会議にて報告させていただくこともあります。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9	0	0	0	・いつも、子供に優しく支援してもらっています。 ・子どもに対して愛情を持って接してくれていると感じます。	様々な活動を通じて個別支援計画に沿ったサービスを提供し、お子様一人ひとりのより良い成長につながるよう支援させていただいています。	
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだいのためのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	1	1	3		父母の会や保護者会等はありませんが、安全計画保護者説明会の際には、保護者同士の交流が図れるよう工夫しています。		

	19	子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8	1	0	0		相談や申し入れ、ご意見等があった際は児童発達支援管理責任者へ報告があり、できる限り迅速に対応できるように心掛けています。ご意見等については、今後のサービス向上に向けて参考させていただきたくしますので、これからも忌憚のないご意見をお願いします。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9	0	0	0	+連絡ノートにも書いてくれていて送迎時にも活動内容の説明があり良い。 +連絡帳や送迎時の時にその日のことを話してくるので、ありがとうございます。	子ども達には視覚的支援を中心に情報提供を行っています。また、保護者の皆さまには活動の様子をご理解いただけるよう連絡帳への記載や送迎の際にお伝えさせていただいています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	8	1	0	0		携帯電話での予約システムにて活動予定表やおたよりを発信しています。また、事業所評価については、事業所入口に掲示し、公開しています。また、法人ホームページで活動の様子を公開しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9	0	0	0		個人情報の取り扱いについては、誠心の注意を払って対応しています。広域研修への写真撮影の有無に関しては、契約時に個人情報提供同意書をいただくようにしています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	0	0	0		年度当初の安全計画等保護者説明会にて周知させていただいています。また、各種訓練については、法人内のマニュアルに沿って定期的に実施しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9	0	0	0	定期的に訓練しているようです。	非常災害等の発生に備え、定期的に訓練（避難誘導、防犯、風水害、保護者引き渡し訓練）を実施しています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9	0	0	0		年度当初の安全計画等保護者説明会にて周知させていただいています。また、子ども達の障がい特性に応じて、安全かつ安心して過ごせるよう標準設定に配慮しています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9	0	0	0	+大きな事故や怪我等なく、安心して通わせることができています。 +小さなことでも報告してくれます。	事故等が発生した際は児童発達支援管理責任者へ報告があり、迅速に対応できるよう配慮しています。また、電話や連絡帳、当日の送迎時に状況説明を行い、その後の経過も含めて確認させていただいています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	9	0	0	0	安心して通所できています。	療育活動を通じて、今後子ども達の最善の利益の保障と健全な育成が図れるよう、日々努力して参ります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	8	1	0	0	+行くことを嫌がる様子は見られないので、きっと楽しく過ごしているんだと思います。 +大好きな友だち、職員に会えるのが嬉しそうです。 +いつも通しそうに通っています。	ダンボでは様々な活動を通じて、笑顔をご家庭に持って帰ることも大切にしています。今後も安全第1で子ども達に安心して通ってもらえる事業所を目指し、日々努力して参ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	8	1	0	0	+安心して親は働くことができます。いつもありがとうございます。 +いつもありがとうございます。	いつも保護者の皆さまのご協力と子ども達の笑顔に支えられ、職員一同感謝しありません。何かあればすぐに保護者に連絡し、安心して子ども達を預けていただけるよう、今後も努力して参ります。引き続き『子ども達と共に成長するダンボ』を目指し、保護者の皆様と連携を図っていけたらと考えていますので、よろしくお願ひ致します。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
こどもデイサービス ダンボ		令和 8年 2月 27日			
	チェック項目	はい		工夫している点	課題や改善すべき点
		はい	いいえ		
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	12	0	人数に対して適切であり、安全に活動できるよう必要ときに必要な物を運び、普段は広くスペースを取るようにしている。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	4	職員配置については、基準以上の配置をしている。	・配置は満たしているが、介助が必要な利用者に対し少なく感じる。 ・職員がたりないと思う。(介助が必要な児童が多いのに) ・定員に対しては適切だと思うが、利用者の特性をふまえるとヘルプが必要な時もある。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10	2	活動の場所はフロンティアになっており、視覚的に一日の流れがわかるように工夫している。また、入口にはスロープと手すりを設置している。	玄関に段差があるため、車いすやバギー等の操作は十分に気をつけている。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	2	毎日活動前と活動後に掃除・消毒を行うことで清潔な環境を提供している。	強度行動障害のお子さまに対しての配慮(聴覚過敏のお子さまは個室で過ごす等)を行っているが、大きな環境ではないため不十分。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	12	0	カームダウン室やスヌーズレン室が個室になっているため、ゆっくり過ごせるようになっている。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	11	1	毎日のミーティングで職員間で活発な意見が出ている。	毎日のミーティングや会議等で業務の振り返りを行っているが、その意味が伝わっていなかったため、伝達していく。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	0	アンケートで収集している。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	0	・業務の中や日報管理を通じ、意見が言える場面も多く、業務改善ができています。 ・会議や気づいた時に話し改善につなげている。 ・月1回職員会議を行っている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	8		第三者評価は実施していない。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	12	0	研修機会は多く、月1回の職場内研修が行われており、職員の質の向上につながっている。	
適切な	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	12	0	・モニタリング等で支援計画を作成し職員で共有している。 ・HPIに掲載している。 ・前日の活動予定表などが掲示されており、見直しを持って過ごすことができている。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	12	0	・こども、保護者のニーズが入り適切。 ・児童の困りごと、保護者の意見を聞き作成している。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	12	0	話し合い検討されている。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	12	0	回覧等で共有されている。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	12	0	されている。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11	1	・5領域を含む適切な支援計画が設定され、その上で支援が行われている。 ・モニタリング等で聞き取りをして具体的な支援内容になっている。	行っているが、職員間で周知できていない部分があり、伝達していく。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	12	0	チームで話し合っている。	

支 援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	12	0	・プログラムが固定化しない様意見を出し合い工夫されている。 ・話し合っており工夫している。 ・5領域の中で工夫しながら日々活動を変えている。	
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	12	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	12	0	・開始前や支援しながら連携できている。 ・送迎開始前にミーティングを行い、1日の流れの確認を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	11	1		送迎があるため終了後の打ち合わせは行ってないが、何かあればすぐに児童館への連絡と、次の日のミーティングで報告することを徹底している。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	12	0	・記録を元に振り返りを行うことで改善につなげている。 ・気付いた時に共有している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	12	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	12	0		
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	12	0	・意思表出が難しい場合は、イラスト等の視覚的な支援で工夫されている。 ・カード等を見せて自己決定してもらえるように支援している。 ・おやつはご利用児に選んでいただいている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	12	0	参画している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	12	0	・できている。 ・協力医療機関等と連携している。 ・子ども福祉課とのかかわりはある。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	12	0	・情報共有も多く適切な対応ができている。 ・連絡等行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	11	1	就学前のお子さまについては、情報共有を行っている。	職員間で周知不足だったため、伝達する。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	10	2	・できている。 ・モニタリング等で共有している。	・卒業生が去年今年といないため行ってない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	9	3		スーパーバイズや助言、研修等の機会は特に設けていないが、児童発達支援センターの相談員と日頃から連絡をとり、情報共有を行っている。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	5	7		放課後児童クラブや児童館との交流の機会は今のところないが、総合型地域スポーツクラブの催しに参加し、他事業所との交流を行っている。また、インクルージョンの機会を持てるように活動に取り入れている。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	12	0	園の代表が各部会に出席し、会議内容を周知している。	
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	12	0	・送迎時伝え合っている。 ・連絡帳や送迎時に伝えている。 ・連絡帳や送迎時などで1日の様子等を伝えたり、家庭での様子を聞いている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	4	・ペアレントの情報提供を行った。	ペアレント・トレーニングは実施していない。
保 護 者 へ	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	12	0	できている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	12	0	・できている。 ・連絡帳やモニタリングで行っている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	12	0	同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	12	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	6	6	活動を通してきょうだい同士で交流することができている。	・保護者会は無いが、なおみ園祭や安全計画説明会で交流の工夫がある。 ・家族間での交流はない。

の 説 明 等	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	12	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できている。</li> <li>・上司に相談し対応している。</li> <li>・何かあった際は上層者にすぐに報告し、対応しています。</li> </ul>	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	12	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1ヶ月に1度のおたより、また活動の際はお手紙を作成している。また、予約システムを使用。</li> <li>・ホームページで発信している。</li> <li>・定期的にたよりを配布したりHPを活用することで情報提供を行っています。</li> </ul>	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	12	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	12	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わられた事業運営を図っているか。	12	0	園の祭りで地域の皆さまにも楽しんでもらっている。	
非 常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	12	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施している。</li> <li>・通報招集訓練等を行い、緊急時の対応の確認等を行っている。</li> </ul>	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	12	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施している。</li> <li>・定期的に避難訓練等を行い、災害の発生に備えることができています。</li> </ul>	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	12	0	確認し、服薬依頼書を元に服薬をしている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	12	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・されている。</li> <li>・毎年アレルギー確認表で確認している。</li> </ul>	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	12	0	安全計画に沿った研修や訓練を行っている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	12	0	年度当初に安全計画	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	12	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	12	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切にできている。</li> <li>・研修やアンケート、会議で確保している。</li> </ul>	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	12	0			